

愛知県立芸術大学 大学院

音楽研究科 博士前期課程 学生募集要項



音楽研究科 博士前期課程

出願期間：令和5年8月23日～令和5年8月30日 締切日消印有効

試験日程：令和5年10月21日、22日

合格発表：第1次選考/令和5年10月22日 午前8時

最終選考/令和5年10月31日 午前11時

入学手続：令和5年12月12日～令和5年12月19日 締切日消印有効

愛知県立芸術大学大学院音楽研究科博士前期課程

■入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

◎求める学生像

- ・音楽芸術における高度な知識・技能・表現力・応用力をもつ人
- ・自発的に社会の需要を掘り起こす意識を持っている人
- ・学際的研究能力と国際的な感覚を持ち合わせた人

◎入学前に身につけてほしい学習成果

- ・音楽芸術の高度な専門能力
- ・音楽芸術に関する理論知識
- ・語学力と国際的感覚

◎入学者選抜の基本方針

提出作品、実技試験、研究計画書、口述試験、外国語、西洋音楽史などの試験結果を総合して選抜します。

■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

◎ディプロマ・ポリシー達成のための教育課程の編成方針

学部で習得した音楽一般および専門能力を土台とし、さらに高度な専門性を身につけ自らが開拓していく力を養うことを目指しています。

◎具体的なカリキュラム構成と特徴

年度ごとに研究計画を立て、学部で培った作曲、研究、演奏能力を深化させるとともに学際的研究能力を身につけることで、音楽研究を高度に発展させる力を養います。単一専攻制であるため、各専門分野を深める授業のみならず、他領域の授業や、教養教育、或いは美術研究科との連携も含めた複合領域による授業など、領域横断的な研究を行うことが可能となっています。博士後期課程への研究の継続性を図るため、創作・演奏領域の学生の修了論文（一部選択）の指導も行います。

◎教育課程の評価方針・方法

学生個々の研究計画書と研究報告書をもとに研究状況を総合的に評価します。

■修了認定・修士授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

◎人材育成目標

高度な専門性と幅広い知識、旺盛な国際感覚をモットーに、現代社会における真の音楽芸術のプロとしての能力を身につけ、国際的な視野を持って芸術文化の発展に寄与できる人材を育成することを目指しています。

◎修了までに身につけるべき資質・能力

- ・音楽芸術の専門家としての高い表現能力
- ・学際的な研究方法と専門的な知識
- ・自らの才能と技術を生かして社会の需要を作り出す力
- ・領域の枠を超えた学修によって得た広い視野と応用力、国際感覚

◎学位授与の方針・評価方法

- ・領域により「修士作品」、「修士論文」又は「修士演奏」等の審査及び最終試験に合格したものを修了と認め、修士（音楽）の学位を授与します。
- ・所定の在学期間の確認、必要単位修得の確認
- ・「修士作品」、「修士論文」又は「修士演奏」及び最終試験等を審査し総合的に評価します。

目 次

1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願手続	3
4. 出願書類	3
5. 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について	4
6. 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先	4
7. 選抜方法	5
8. 試験日程及び試験科目	5
9. 合格発表	6
10. 入学手続	6
11. 授業料	6
12. 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について	6
13. 入試結果の開示	8
14. 個人情報の取扱いについて	8
15. 教員組織（令和5年4月1日現在）	9
■実技試験内容及び課題曲	11
■令和5年度入学試験実施状況	17
■令和5年度入試 試験問題	18
■様式集	
・入学願書	
・入学検定料納付証明書貼付欄／受験者写真票／受験票	
・研究計画書 表紙（音楽学領域）	
・研究計画書 表紙（音楽学領域以外）	
・入学検定料振込用紙	

令和6年度愛知県立芸術大学大学院 音楽研究科博士前期課程学生募集要項

1 募集人員

音 楽 研 究 科	音 楽 専 攻	領 域	募集人員
		作曲	30名
音楽学			
声楽			
鍵盤楽器（ピアノ）			
弦楽器			
管・打楽器			

2 出願資格

本研究科に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 大学を卒業した者及び令和6年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により、学士の学位を授与された者及び令和6年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月31日までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号） ※1
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年3月31日までに22歳に達したもの ※2

※1 旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者を示す。

※2 出願資格(9)により出願しようとする者は、必ず令和5年7月6日（木）までに入試課に申し出て、令和5年7月13日（木）（消印有効）までに出願資格審査申請書を提出してください。

3 出 願 手 続

(1) 出願期間

令和5年8月23日(水)から8月30日(水)まで 締切日消印有効

※ただし、日本国外から出願する場合は締切日午後5時必着とする。

(2) 出願方法

出願書類を本学所定の出願用封筒を用い「簡易書留速達郵便」により郵送してください。

普通郵便及び直接持参は受理しません。

出願用封筒の表に必要な事項を記入し、志望する領域名に○をつけてください。

4 出 願 書 類

(1)～(5)及び出願用封筒は、本募集要項巻末の様式及び本学所定の封筒を用いてください。

(1) 入学願書

様式に必要な事項を記入してください。

(2) 入学検定料納付証明書貼付欄・受験者写真票・受験票

それぞれ、氏名、志望領域を記入してください。受験者写真票には、写真1枚(縦4cm×横3cm、正面、上半身、脱帽、出願前3か月以内に撮影したもの)を貼付してください。写真の裏面に氏名、志望領域名を記入してください。

(3) 入学検定料 30,000円

ア 入学検定料振込用紙の太線枠内に必要事項を記入してください。

イ 「ご依頼人」欄は受験者本人の氏名を記入してください。

ウ 入学検定料の納入は、振込依頼書により令和5年8月16日(水)以降に必ず**金融機関の窓口**で行ってください。ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。

エ 振込手数料は、各自ご負担ください。

オ 検定料納付証明書は、入学検定料納付証明書貼付欄に貼り付けてください。

(4) 研究計画書

音楽学領域以外の志願者は、1,200字程度の研究計画書を所定の様式で提出してください。

音楽学領域の志願者は、11ページ「Ⅱ.音楽学領域の研究計画書」を参照のうえ、所定の期間内に提出してください。詳細については、巻末の研究計画書表紙の記載事項を参照してください。

(5) 返信用封筒(受験票等送付用)

受信地住所、氏名、郵便番号を明記し、**速達郵便料分(344円)の切手**を貼付してください。

(6) 出身大学の成績証明書(本学卒業者及び本学卒業見込みの者は提出不要)

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

(7) 出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書(本学卒業者及び本学卒業見込みの者は提出不要)

出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。

(注1) 最終学歴が中華人民共和国の教育機関の方は、CHSI(中国高等教育学生信息网)が発行する「教育部学历证书电子注册备案表(英語版)」をPDFファイルで入手後、A4用紙に印刷し、提出してください。こちらの日本語訳の提出は不要です。手続きの詳細は、CHSI(中国高等教育学生信息网)のウェブサイト(<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)をご確認ください。

(注2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書の写し、授与見込の者については大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書又は下記の①及び②の書類を提出してください。

- ①志願者が在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校専攻科の修了見込証明書
- ②志願者が学位の授与を申請する予定である旨の志願者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長の証明書

(8) その他

- ア 納付された入学検定料及び提出された書類は、返還しません。
- イ 提出書類の不備のものは、受理しません。
- ウ 訂正した箇所には、必ず**訂正印**を押してください。
- エ 各種証明書は、出願前3か月以内に取得したものを提出してください。また、各種証明書と現在の氏名が異なる場合は、氏名変更の事実が確認できる書類（戸籍抄本等）を提出してください。
- オ **受験票は、入学手続の時まで大切に保管**してください。
- カ 外国語の出願書類がある場合は、そのすべてに日本語訳を添付してください。ただし、中華人民共和国の教育機関が最終学校の方のCHSIの教育部学历证书电子注册备案表（英語版）については、日本語訳の提出は不要です。
- キ 試験は、対面で実施します。海外から来日し受験を検討している方は、日本へ入国・滞在できるか否かについて、出願前に必ずご自身で確認してください。入国できない場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。
- ク 外国人留学生は、入学手続日までに「出入国管理及び難民認定法」（昭和26年政令第319号）において、大学院入学に支障のない在留資格を取得してください。
- ケ **受験票は、令和5年9月6日（水）以降に送付**します。9月13日（水）までに届かなかった場合、入試課までお問合せください。

5 障がいを有する等の入学志願者との事前相談について

本研究科に入学を志願する者で、障がい

を有する者等は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ文書で本学に申し出てください。

(1) 申し出の時期

令和5年7月25日(火)まで

(2) 申し出の方法

次の事項を記載し、入試課まで書面で申し出てください。

- ①志望領域 ②障がいの種類・程度 ③受験上の特別な配慮を希望する事項
- ④修学上の特別な配慮を希望する事項 ⑤その他参考となる事項

なお、申し出に基づき相談が必要となった場合は下記によります。

(3) 相談の時期

令和5年8月3日(木)まで

(4) 相談の方法

相談申請書に医師の診断書（身体障害者手帳を有する者はその写し）を添えて自己申告してください。必要に応じ、本研究科において志願者との面談等を行います。

6 出願書類・相談申請書提出先及び受験に関する照会先

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114 愛知県立芸術大学 入試課

電話 0561-76-2603（直通）（照会時間は平日午前9時から午後5時まで）

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

メールアドレス admission_pr@mail.aichi-fam-u.ac.jp

7 選 抜 方 法

入学者の選考は、以下のとおり行います。(試験場：本学)

第一次選考 実技試験等(作品審査含む)の成績による判定

最終選考 第一次選考の結果、学力検査及び面接試験の結果を総合した判定

(1) 評価基準

本学大学院音楽研究科で、研究を深めるために必要な実技の能力と学力を問います。

(2) 判定基準

専門領域の能力を重視し総合的に判断します。

8 試験日程及び試験科目

領域		音 楽 学	作 曲	声 楽	鍵盤楽器	弦 楽 器	管・打楽器
令和5年 10月21日 (土)	第 一 次 選 考 ※1	研究計画に基づく 口述試験 13:00～	提出作品と 研究計画に 基づく 口述試験 13:00～	実 技 10:00～	実 技 9:30～	実 技 10:00～	実 技 10:00～
10月22日 (日) ※2	最 終 選 考	第一次選考合格発表 8:00 場所：本学管理棟で掲示及びウェブサイト掲載(※2・3)					
		外国語(英、独、 仏、伊から1ヶ国 語) 10:00～11:30 ※集合時間 9:45	西洋音楽史 9:30～10:30 ※集合時間 9:15				
		外国語(英、独、仏、伊から1ヶ国語) 11:00～12:00					
		音楽学 12:30～14:00		面接試験 13:00～	面接試験 13:00～	面接試験 13:00～	面接試験 13:00～
10月31日(火)		最終合格発表 11:00 場所：本学管理棟で掲示及びウェブサイト掲載(※3)					

※1 実技試験内容及び課題曲については11～17ページ「実技試験内容及び課題曲」を参照してください。

※2 最終選考は、第一次選考合格者のみ受験することができます。

※3 本学ウェブサイト「入試情報」 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>

本学ウェブサイト「入試情報」にて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。情報提供には万全を期しておりますが、学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

〔注意事項〕

- ・音楽学領域以外の外国語については、辞書の持ち込みを1冊のみ許可します。ただし、電子辞書の使用は認めません。
- ・音楽学領域の外国語については、辞書の持ち込みは不可とします。
- ・遅刻した場合、受験できないことがありますので注意してください。
- ・入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等)に罹患し治療していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師が感染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。
- ・上記により受験をご遠慮頂いた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。体調管理については十分に注意してください。

9 合格発表

- (1) 日 時 令和5年10月31日(火)午前11時
(2) 場 所 本学管理棟で掲示（電話等による合否に関する問い合わせには一切応じません。）

※合格者には、合格通知書及び入学手続要領（『入学ガイド』）を郵送します。

※本学ウェブサイトにて掲示内容の情報提供をしますが、掲示の補助手段として実施するものです。

情報提供には万全を期しておりますが本学から送付する通知書及び学内の掲示をもって正式な通知といたしますので、ご了承ください。

本学ウェブサイト「入試情報」 <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>



(3) 追加合格

定員に欠員が生じた場合は、追加合格を行う場合があります。追加合格実施の有無は、令和5年12月21日（木）午後5時に本学ウェブサイト「入試情報」にて発表します。

追加合格を実施する場合は、令和5年12月22日（金）午前9時から午前10時の間に電話で連絡します。ただし、電話に出ない場合もしくはその場で諾否の意思表示ができない場合は、入学を辞退したものとみなします。

10 入学手続

期間

令和5年12月12日（火）から19日（火）まで 締切日消印有効

※提出書類を「簡易書留速達郵便」により郵送してください。

※ただし、日本国外から郵送する場合は締切日午後5時必着とします。

- (1) 入学料及び保険料
284,430円
(内訳) ・入学料 282,000円
・学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償保険 保険料 2,430円（2年間分）
ア 入学料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。なお、入学料及び保険料は改定されることがあります。
イ 納付された入学料は返還しません。
- (2) 入学料及び保険料の振込にあたってのお願い
ア 合格者は、本学所定の振込依頼書により入学料及び保険料を納入し、所定の提出書類と、入学料及び保険料の振込金受取書を持参の上、指定された期日に入学手続をしてください。
イ 入学料及び保険料の納入は、**金融機関の窓口**から行ってください。
ゆうちょ銀行及びATMからは送金しないでください。
ウ 振込金依頼書の「**ご依頼人**」欄は**合格者本人の氏名**を記入してください。
- (3) 入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- (4) 入学手続を完了した者であっても出願資格において「見込み」で受験し、入学に必要な要件を令和6年3月31日までに満たせない場合は、入学許可を取り消します。

11 授業料

年額 535,800円（前期・後期各267,900円。前期分は4月、後期分は10月に納入します。）

授業料は、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程の定めるところによります。

なお、授業料は改定されることがあります。

12 入学検定料、入学料、授業料の免除・還付制度について

(1) 入学検定料の免除

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学検定料の全部が免除されることがあります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者

- ② 入学試験前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害(※1)を受けたことにより、入学検定料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学試験前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養(※2)、会社の倒産・解雇等による失業(※3)又は事業の倒産により、入学検定料の納付が極めて困難になった者

※1：市町村長等から「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」に基づく「全壊」、「大規模半壊」及び「半壊」のいずれの認定を受けたことをいう。

※2：入院する必要が生じたことをいう。

※3：会社の倒産・解雇等による失職のことをいう。定年や自己都合による退職はこれに含まない。

問合せ期限	令和5年8月2日(水)
-------	-------------

(2) 入学料の還付

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により入学料の全部又は半額が還付される場合があります。詳細については、下記の期限までに問い合わせてください。

※入学料は必ず全額納付してください。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 入学前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害(※1)を受けたことにより、入学料の納付が極めて困難になった者
- ③ 入学前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養(※2)、会社の倒産・解雇等による失業(※3)又は事業の倒産により、入学料の納付が極めて困難になった者

※1：市町村長等から「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」に基づく「全壊」、「大規模半壊」及び「半壊」のいずれの認定を受けたことをいう。

※2：入院する必要が生じたことをいう。

※3：会社の倒産・解雇等による失職のことをいう。定年や自己都合による退職はこれに含まない。

問合せ期限	令和5年12月1日(金)
-------	--------------

(3) 授業料の免除

○日本人学生

次のいずれかの項目に該当する場合は、申請により授業料の一部若しくは全部について免除又は徴収延期となることがあります。詳細については、合格者に別途連絡します。

なお、要件は改定されることがあります。

- ① 生活保護法による被保護家庭の子弟である者
- ② 申請期限前1年以内において、学資負担者が風水害その他の災害を受けたことにより、授業料の納付が極めて困難になった者
- ③ 申請期限前1年以内において、学資負担者の死亡、長期療養、会社の倒産・解雇等による失業又は事業の倒産により、授業料の納付が極めて困難になった者
- ④ 上記①、②、③以外で、経済的理由により授業料の納付が困難な者

○外国人留学生

外国人留学生対象の授業料免除制度が設けられています。詳細は入学後に本学ポータルサイトでご確認ください。※内容については、今後変更する可能性があります。

(4) 問合せ先

学務部学務課 E-mail g-shien@mail.aichi-fam-u.ac.jp

13 入試結果の開示

愛知県個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、音楽研究科入学試験の結果については、口頭により受験者本人が自己の入試結果の開示を請求することができます。

- | | |
|------------------|---|
| (1) 開示請求できる範囲 | 科目別得点、領域別実技試験ランク、面接試験のランク(A, B, C, D, Eの5ランクで開示します。) |
| (2) 開示できる期間 | 令和5年10月31日(火)合格発表時刻～令和5年11月30日(木)午前9時から午後5時まで。ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。 |
| (3) 開示請求の受付を行う場所 | 本学管理棟3階 芸大総務課 |
| (4) 開示の方法 | 本人部分のみ閲覧。 |
| (5) 開示請求に必要な書類 | 受験票と、身分証明書(学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等) |
| (6) 開示請求方法 | 受験者本人が、口頭で本学芸大総務課に申し出てください。 |
| (7) その他 | 電話、E-mail等による成績の開示はいたしません。 |
| (8) 開示に関する問い合わせ先 | 芸大総務課 電話 0561-76-2408(直通) |

入試結果の情報提供

受験者本人の申し出に限り、郵送による成績の情報提供を行います。
申込方法及び申請書など、詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。

14 個人情報の取扱いについて

個人情報については、個人情報保護に関連する法令に基づき適切に管理します。

- (1) 利用目的について
出願にあたって提出された氏名・住所等の個人情報は、入学者選抜並びに必要な応じ入学後の学籍管理、学習指導及び学生支援関係業務において利用します。
- (2) 第三者への個人情報の提供
取得した個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。
ただし、個人情報の保護に関する法令の定めるところにより、提供すべき義務を負う場合には本人の同意を得ることなく個人情報を提供することがあります。

15 教 員 組 織 (令和5年4月1日現在)

音楽研究科長 安原 雅之

客員教授 鍵盤楽器 イリーナ・チュコフスカヤ (ピアノ)
弦楽器 フェデリコ・アゴスティーニ (ヴァイオリン)
オーケストラ 尾高 忠明 (指揮)

客員教授 (短期招聘) 作曲 ユハ・T・コスキネン

作曲 教授 小林 聡 教授 山本 裕之
教授 成木 理香 准教授 安野 太郎

音楽学 教授 安原 雅之 教授 東谷 護
講師 七條 めぐみ

声乐 教授 中巻 寛子 (メゾソプラノ) ○ 教授 森川 栄子 (ソプラノ)
教授 小原 啓楼 (テノール) 准教授 川島 幸子 (ソプラノ)
准教授 初鹿野 剛 (バリトン) 准教授 森 寿美 (バリトン)

鍵盤楽器 教授 北住 淳 (ピアノ) ○ 教授 掛谷 勇三 (ピアノ)
教授 内本 久美 (ピアノ) 教授 鈴木 謙一郎 (ピアノ)
准教授 中尾 純 (ピアノ) 准教授 武内 俊之 (ピアノ)
講師 秋場 敬浩 (ピアノ)

弦楽器 教授 花崎 薫 (チェロ) ◎ 教授 福本 泰之 (ヴァイオリン)
教授 白石 禮子 (ヴァイオリン) 教授 桐山 建志 (ヴァイオリン)
准教授 渡邊 玲雄 (コントラバス)

管・打楽器 教授 深町 浩司 (パーカッション) 教授 倉田 寛 (トロンボーン)
准教授 橋本 岳人 (フルート) 准教授 ブルックス信雄トーン (クラリネット)
准教授 井上 圭 (トランペット)

教養教育等 教授 石垣 享 (特殊研究)
教授 井上 彩 (原典研究・英語)
教授 水野 留規 (原典研究・伊語) ○
准教授 大塚 直 (原典研究・独語)
准教授 数森 寛子 (原典研究・仏語)

◎ … 令和6年3月退職予定

○ … 令和7年3月退職予定

非常勤講師

作曲

足立 智美 (特殊研究)
壬生 千恵子 (特殊研究)

稲森 安太己 (現代の音楽)
渡辺 裕紀子 (特殊研究)

長江 和哉 (特殊研究)

音楽学

伊東 信宏 (特殊研究)
葛西 周 (特殊研究)
山口 真季子 (特殊研究)

伊藤 円 (コレペティトール)
白井 史人 (特殊研究)

大山 昌彦 (特殊研究)
野間 晴久 (アート・マネジメント)

声楽

伊藤 晴 (声楽実技)
五月女 智恵 (声楽実技)
渡部 純子 (声楽実技)
糸原 裕介 (オペラ総合演習、重唱)
吉田 恵 (特殊研究)

相可 佐代子 (声楽実技)
田島 茂代 (声楽実技)
飯塚 励生 (オペラ総合演習)
辻 博之 (重唱)

大槻 孝志 (声楽実技)
三輪 陽子 (声楽実技)
桃井 佑子 (オペラ総合演習、重唱)
山本 敦子 (オペラ総合演習)

鍵盤楽器

朝川 万里 (ピアノ実技)
大瀧 拓哉 (ピアノ実技)
熊谷 恵美子 (ピアノ実技)
鶴見 彩 (ピアノ実技)
平沢 匡朗 (ピアノ実技)
松川 儒 (ピアノ実技)
米川 幸余 (ピアノ実技)

飯田 あかね (ピアノ実技)
奥村 理恵 (ピアノ実技)
小坂 圭太 (ピアノ実技)
田中 ゆりあ (ピアノ実技)
廣瀬 啓子 (ピアノ実技)
宮代 尚子 (ピアノ実技)
平井 み帆 (チェンバロ実技)

伊藤 わか奈 (ピアノ実技)
金丸 友理絵 (ピアノ実技)
高橋 早紀子 (ピアノ実技)
西山 郁子 (ピアノ実技)
扶瀬 絵梨奈 (ピアノ実技)
山口 雅敏 (ピアノ実技)
吉田 恵 (オルガン実技)

弦楽器

小林 美恵 (ヴァイオリン実技)
西谷 牧人 (チェロ実技)
野村 友紀 (オーケストラ)

島田 真千子 (ヴァイオリン実技)
石橋 直子 (オーケストラ)
平光 真彌 (オーケストラ)

百武 由紀 (ヴィオラ実技、特殊研究)
景山 梨乃 (ハープ実技、オーケストラ)

管・打楽器

満丸 彬人 (フルート実技)
宇賀神 広宣 (ファゴット実技)
西條 貴人 (ホルン実技)
露木 薫 (ユーフォニアム実技)
新田 ユリ (ウインドオーケストラ)
大久保 成美 (室内楽)
箱崎 由衣 (室内楽)

岡 北斗 (オーボエ実技)
平野 公崇 (サクソフォーン実技)
長谷川 智之 (トランペット実技)
林 裕人 (チューバ実技)
矢澤 定明 (ウインドオーケストラ)
杉木 峯夫 (室内楽)
宮本 弦 (室内楽)

土井 恵美 (オーボエ実技)
安土 真弓 (ホルン実技)
田中 宏史 (トロンボーン実技)
小森 邦彦 (マリンバ実技、室内楽)
浅井 崇子 (室内楽)
田作 幸介 (室内楽)

教養教育等

ロムアルド・バローネ (特殊研究)
井村 和寛 (複合芸術研究)
礪田 有香 (複合芸術研究)

オーケストラ

松本 宗利音 (オーケストラ、指揮法)
太田 弦 (オーケストラ)

■実技試験内容及び課題曲

＜「Ⅰ. 作曲領域の提出作品」及び「Ⅱ. 音楽学領域の研究計画書」の提出時の共通事項＞

- (1) 提出期間：令和5年9月28日（木）から10月5日（木）午後5時まで
- (2) 提出先：入試課
- (3) 郵送の場合は、簡易書留速達郵便により締切日消印有効とします。
(ただし、日本国外から郵送する場合は締切日午後5時必着とします。)
なお、封筒の表に必ず「音楽研究科音楽専攻作曲領域提出作品」又は「音楽研究科音楽専攻音楽学領域研究計画書」と朱書してください。
- (4) 直接提出する場合は、午前10時から午後5時までとします。(ただし、土・日曜日、祝日等、大学が休業となる日は受け付けません。)

I. 作曲領域の提出作品

4曲以上（種類は問わない）の作品を提出してください。

※ 提出作品は楽譜またはCD(-R)やDVD(-R)等(USBメモリやSDカード等に記録した映像や音声データでも可)で提出してください。ただし少なくとも2作品は楽譜の形で提出してください。作品資料提出はコピー(A3サイズ以下)とし、氏名、題名、制作年を明記、必要があれば補足説明なども付けてください。必ず本人の制作物とします。

(作品は後日返却しますので、返却返信用封筒を同封してください)

※ 返却返信用封筒について

1 作品の入る封筒に、「返却作品在中」と朱書きしてください。

2 返却方法は、郵便局のゆうパックとします。

ゆうパック送り状(料金着払い用)に以下を記入してください。

【お届け先】に、志願者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入。

【ご依頼主】に、同上と記入。【品名】に、楽譜と記入。【配達希望日】は記入しない。

3 上記のゆうパック送り状を返却用封筒に貼付してください。

II. 音楽学領域の研究計画書

4,000字程度の研究計画を所定の様式で、提出してください。

Ⅲ. 声楽領域実技

(1) アリアと歌曲の両方によって構成する 10 分以上 15 分以内のプログラムを組み、入学願書の「受験曲目」欄に【①作曲者名、②曲名、③曲ごとの演奏時間】を記入し提出してください。演奏時間には曲間は含みません。実質的な演奏時間が 10 分未満の場合は失格とします。

※ アリアと歌曲の両方を必ず演奏してください。

※ アリアは、オペラ・アリア、オペレッタ・アリア、コンサート・アリア、あるいは宗教曲のアリアとし、原則として原調での演奏とします。

※ 演奏はすべて暗譜でおこなってください。

※ 作曲者を問わず、歌詞は原則として原語とします。

※ 曲目は当日指定する場合があります。

(2) 受験者は伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

Ⅳ. 鍵盤楽器領域（ピアノ）実技

下記の(a) (b) (c)を必ず含むピアノ独奏作品による 40 分以上のプログラムを用意してください。

(a) バロック時代の任意の作品

(b) 古典派（J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethoven に限る）の任意の作品

(c) ロマン派以降の任意の作品

※ 出版されている作品に限ります。内部奏法などの特殊奏法を用いた作品は不可。

※ (a) (b) (c)はそれぞれ複数曲の選択も可。

ただし、入学願書の「受験曲目」欄に記載した順番で演奏してください。

※ 暗譜で演奏してください。演奏をカットする場合、あるいは演奏箇所を試験当日に指定する場合があります。

Ⅴ. 弦楽器領域実技

<弦楽器領域共通事項>

(1) 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

(2) 他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。

○ヴァイオリン

次の 2 曲を演奏（暗譜）してください。

(1) J. S. Bach: Sonaten für Violine solo g-moll BWV1001、a-moll BWV1003、C-dur BWV1005

より任意の Fuga を 1 曲。

原典版の使用が望ましい

(2) 次のグループ(a)～(g)より任意の 1 曲の第 1 楽章。カデンツァを含みます。

伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。

使用版は自由

(a) L. v. Beethoven: Konzert D-dur Op. 61

(b) J. Brahms: Konzert D-dur Op. 77

(c) F. Mendelssohn: Konzert e-moll Op. 64

(d) P. Tchaikovsky: Konzert D-dur Op. 35

(e) A. Dvořák: Konzert a-moll Op. 53

(f) J. Sibelius: Konzert d-moll Op. 47

(g) B. Bartók: Konzert Nr. 2 Sz. 112

○ヴィオラ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo BWV1007～1011 より任意の Prélude を1曲。
使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)～(c)より任意の1曲の第1楽章。
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。
 - (a) W. Walton: Konzert 使用版は自由
 - (b) P. Hindemith: “Der Schwanendreher”
 - (c) B. Bartók: Konzert (遺作)

○チェロ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo Nr. 2 BWV1008、Nr. 3 BWV1009、Nr. 4 BWV1010
より任意の Prélude を1曲。 使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)～(d)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。
 - (a) J. Haydn: Konzert C-dur Hob. VIIb: 1 使用版は自由
 - (b) J. Haydn: Konzert D-dur Hob. VIIb: 2
 - (c) A. Dvořák: Konzert h-moll Op. 104
 - (d) R. Schumann: Konzert a-moll Op. 129

○コントラバス

次の2曲を、いずれもソロチューニングで演奏（暗譜）してください。

- (1) H. Fryba: Suite im alten Stil (A Suite in the Olden Style) für Kontrabass solo
より Prélude 使用版は自由
- (2) 以下の協奏曲の中から1曲を選び、その第1楽章および第2楽章。
伴奏者を同伴してください。また、伴奏者の情報を願書に記入してください。
使用版は自由

S. Koussevitzky: Konzert fis-moll
G. Bottesini: Konzert Nr. 2 h-moll

○ハーブ

次の2曲をすべて繰り返しなしで演奏（暗譜）してください。受験の際は本学の楽器を使用してください。

- (1) F. Godefroid: Etude de concert Op. 193 使用版は自由
- (2) C. Salzedo: Variations sur un thème dans le style ancien 使用版は自由
(8番バリエーションの終わりに明記されているカットを行なって演奏すること)

VI. 管・打楽器領域実技

<管・打楽器領域共通事項>

- ※ マリンバ（打楽器 B）の受験者を除くすべての楽器の受験者は、伴奏者を同伴してください。
また、伴奏者の情報を願書に記入してください。他の実技系領域の試験が同日に行われるので、伴奏者の依頼にあたっては十分注意してください。
- ※ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。
- ※ 受験曲目については、フルート、オーボエ、サクソフォーン、パーカッション（打楽器 A）、マリンバ（打楽器 B）の曲目以外は入学願書に記入する必要はありません。

○フルート

下記の(1)(2)を演奏してください。暗譜の必要はありません。 使用版は自由

- (1) 下記の2曲より1曲を選択し、演奏してください。
 - (a) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 1 in G major K. 313 全楽章
 - (b) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 2 in D major K. 314 全楽章
 - ・カデンツァ付き、カデンツァは任意のもの。
 - ・演奏箇所は当日指定します。
- (2) 自由曲（ただし、協奏曲は除く）
 - ・1800年以降、フルートのために作曲された作品から1曲選択すること。
 - ・7分～8分程度で演奏すること。カットして演奏することも可。
 - ・無伴奏曲も可。

○オーボエ

下記の(1)(2)を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) W. A. Mozart: Concerto in C major K. 314 第1、2楽章<カデンツァ付き> 使用版は自由
- (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。
 - (a) H. Holliger: Sonate für Oboe solo より Schott 版
I Präludium と II Capriccio
 - (b) A. Dorati: 5 pièces pour le hautbois より Boosey & Hawkes 版
第1曲と第5曲
 - (c) G. Silvestrini: 6 études pour le hautbois より Delatour 版または Editions du Hautbois 版
第1曲と第6曲

○クラリネット

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。 使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: Konzert für Klarinette und Orchester K. 622
第1・3楽章はカデンツァなし、第2楽章はカデンツァありで演奏してください。
- (2) I. Stravinsky: Three Pieces for Clarinet Solo

○ファゴット（バスーン）

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

使用版は自由

(1) F. Devienne: Sonata in F Op. 24 No. 3

1. Allegro 2. Largo 3. Rondo Allegretto

(2) E. Bozza: Récit, Sicilienne et Rondo

○サクソフォーン

下記の課題曲と選択自由曲1曲を演奏してください。

(課題曲) J. Ibert: Concertino da camera より第1楽章 (暗譜)

A. Leduc 版

(自由曲) 下記の曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。

(1) A. Waignein: Rhapsody for Alto saxophone and orchestra or piano より

Scherzando 版

任意の2つの楽章

(2) E. Denisov: Sonate pour Saxophone Alto et Piano 全楽章

A. Leduc 版

(3) P. Creston: Saxophone Concerto Op. 26 より

G. Schirmer 版

第1、第2楽章、もしくは第2、第3楽章

(4) E. Larsson: Concerto for Saxophone and String Orchestra Op. 14 より

Gehrmans 版

第1、第2楽章

(5) L. Robert: Cadenza pour Saxophone mib et piano

Billaudot 版

(6) I. Gotkovsky: Concerto pour Saxophone alto et orchestre

Transatlantiques 版

(7) P. Bonneau: Capris en forme de valse

A. Leduc 版

(8) 棚田文紀: Mysterious morning III

Lemoine 版

(9) L. Berio: Sequenza VII b

Universal 版

(10) A. Desenclos: Prelude Cadence et Finale pour Saxophone Alto et Piano

A. Leduc 版

課題曲から始め、自由曲は当日指示の通りに演奏してください。(自由曲は最大で約10分程度の演奏時間のため、それを越える曲は演奏箇所を当日試験官が指示します。)

○ホルン

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

R. Strauss: Concerto for Horn and Orchestra No.1 in E flat major, Op. 11

使用版は自由

全楽章を演奏、ただし伴奏部分カットあり。カットの箇所は以下を参照。

・第1楽章…冒頭から演奏後、7小節目に入らず25小節目に入り131小節目まで(ピアノは初めの和音を二分音符分伸ばして終わる)演奏してください。

・第2楽章…Andante部分から演奏開始、そのまま第3楽章最後まで演奏してください。

○トランペット

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

H. Tomasi: Concerto pour Trompette et Orchestre

A. Leduc 版

○トロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concertino in Eb, Op. 4 Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。
- (2) V. Persichetti: Parable for Solo Trombone Op. 133 Theodore Pressere Company 版
暗譜の必要はありません。

○バストロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: Concerto (Concertino) in B♭ for Bass Trombone Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。
- (2) J. S. Bach: Cello Suite No. 5 BWV1011 より Sarabande 使用版は自由
繰り返しありで演奏してください。暗譜の必要はありません。

○ユーフォニアム

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) G. Ph. Telemann: 3 Fantasias for Solo Euphonium より Fantasia No.7 (TWV 40:20)
The Brass Press (a division of Edition BIM)版
- (2) J. Horowitz: Euphonium Concerto 全楽章 Novello 版

○チューバ

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- J. Koetsier: Concertino Op. 77 for Tuba and String Orchestra Editions Bim 版

○パーカッション (打楽器 A)

願書、受験者写真票及び受験票「志望領域」欄に、「パーカッション (打楽器 A)」と記載してください。

下記の2曲を演奏してください。

- (1) セットアップを含む楽器編成による任意の楽曲(10分程度、省略可)
- (2) ティンパニによるオーケストラスタディ
G. F. Händel: Der Messias HWV56 より Hallelujah (ピアノ伴奏付き)
ピアノ伴奏譜は Breitkopf 版 (Edition Breitkopf 2419)を使用してください。

- ・課題(1)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・入学願書の「受験曲目」欄に、使用する楽器(持参する楽器も含む)を記入してください。
- ・大物打楽器は本学所有のものを使用いただけますが、持参する楽器がある場合は、出願の際に申し出て、搬入・搬出方法について本学と協議してください。
- ・課題(1)の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。

○マリンバ（打楽器 B）

願書、受験者写真票及び受験票「志望領域」欄に、「マリンバ（打楽器 B）」と記載してください。

下記の曲を演奏してください。

マリンバによる、12分程度の無伴奏独奏曲（省略不可）。暗譜で演奏してください。

（参考例）向井耕平：Prelude and Allegro

A. Viñao: Khan Variations

J. Schwantner: Velocities

R. R. Bennett: After Syrinx II

- ・上記の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・上記の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。
- ・マリンバは本学所有のもの（ヤマハ：YM-5100A）を使用してください。

■令和5年度音楽研究科博士前期課程入試 試験実施状況

音 楽 研 究 科	領 域	募集 人員	志願者数	受験者数	一次合格者数	最終合格者数	入学者数
	作 曲	30	4	4	4	4	4
	音 楽 学		3	3	3	3	3
	声 楽		25	23	11	8	8
	鍵 盤 楽 器		21	19	12	8	8
	弦 楽 器		7	6	5	4	4
	管・打楽器		17	17	8	6	6
	計		30	77	72	43	33

■令和5年度音楽研究科博士前期課程入試 試験問題

西洋音楽史（作曲／声楽／鍵盤楽器／弦楽器／管・打楽器領域）

【試験問題】

- I. バロック時代の音楽について、次の（１）～（４）からひとつ選び、具体的な作品を挙げながら論じてください。文字数の制限はありません。
- （１）オペラ
 - （２）宗教音楽
 - （３）鍵盤音楽
 - （４）合奏曲
- II. 19世紀の100年間における西洋音楽について、主要な作曲家による作品を挙げながら、音楽様式の変遷について具体的に説明してください。文字数の制限はありません。
- III. 次の表の①～⑩にあてはまるものを、下記の（あ）～（ろ）から選んでください。

生没年	作曲家名	代表作品	キーワード
1300頃-1377	①	《ノートル・ダム・ミサ》	⑩
1525/6-1594	②	《教皇マルチェルススのミサ》	対抗宗教改革
1563-1626	J. ダウランド	《流れよ、私の涙》	⑫
1567-1643	③	《オルフェオ》	サン・カッシアーノ劇場
1685-1750	J. S. バッハ	《アダムの墮落によって》	⑬
1710-1736	④	《奥様女中》	⑭
1732-1809	J. ハイドン	《ザロモン交響曲》	⑮
1770-1827	⑤	交響曲第3番《英雄》	ハイリゲンシュタットの遺書
1803-1869	⑥	《幻想交響曲》	⑯
1810-1856	⑦	《謝肉祭》	性格的小品
1813-1883	⑧	《トリスタンとイゾルデ》	⑰
1874-1951	A. シェーンベルク	《ピアノ組曲》	⑱
1910-1995	P. シェフェール	《一人の男のためのシンフォニー》	⑲
1912-1992	⑨	《易の音楽》	⑳
1925-2003	⑩	《シンフォニア》	ポスト・モダン

【作曲家名】

	作曲家名
あ	A. コレッリ
い	R. シューマン
う	G. B. ペルゴレーシ
え	L. ベリオ
お	R. シュトラウス
か	ギョーム・ド・マシヨール
き	パレストリーナ
く	F. メンデルスゾーン
け	A. ベルク
こ	H. イザーク
さ	ギョーム・デュファイ
し	C. P. E. バッハ
す	R. ヴァーグナー
せ	H. パーセル
そ	O. メシアン
た	H. ベルリオーズ
ち	L. v. ベートーヴェン
つ	J. ケージ
て	C. モンテヴェルディ
と	F. ショパン

【キーワード】

	キーワード
な	多感様式
に	ダブル・エスケープメント
ぬ	12音技法
ね	イデー・フィクス
の	リュート歌曲
は	モノディー様式
ひ	ブフォン論争
ふ	家具の音楽
へ	マドリガーレ
ほ	非可逆リズム
ま	2管編成
み	アインリズム
む	グルック＝ピッチニ論争
め	ライトモティーフ
も	原始主義
ら	チャンス・オペレーション
り	オルガヌム
る	コラル前奏曲
れ	ミュージック・コンクレート
ろ	通模倣様式

【出題の意図】

大学院での研究に必要な音楽史の基礎的知識を備えているかを問う。音楽史におけるさまざまな様式を認識し、それを歴史的な脈絡で捉えるための知識が必要とされる。

【解答】

I (記述式問題のため、省略)

II (記述式問題のため、省略)

III ①か ②き ③て ④う ⑤ち ⑥た ⑦い ⑧す ⑨つ ⑩え ⑪み ⑫の ⑬る ⑭ひ ⑮ま ⑯ね
⑰め ⑱ぬ ⑲れ ⑳ら

音楽学 (音楽学領域)

【試験問題】

I 別紙①と別紙②の文章を参考にして、あなたが音楽史を記述するとしたら、どのような音楽史を記述するかについて自由に論じてください。なお、文字数の制限はありません。

【出典】

- ・中村公輔『名盤レコーディングから読み解くロックのウラ教科書』(2018年)
- ・周東美材「ちんどん屋のライフヒストリー」(2007年)

II 次の(1)～(8)からひとつ選び、論じてください。なお、文字数の制限はありません。

- (1) 戦争と音楽家
- (2) 民俗音楽と録音収集
- (3) 西洋音楽と異国趣味
- (4) 大衆芸能と音楽
- (5) 民族音楽と国家
- (6) ポピュラー音楽と楽曲分析
- (7) 芸術音楽とAI
- (8) ロックミュージックと Primary Text

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な基礎的知識および理解力、資料読解力、論述力を備えているかを問う。

【解答】(記述式問題のため、省略)

外国語〔英語・独語・仏語・伊語〕(作曲／声楽／鍵盤楽器／弦楽器／管・打楽器領域)

【出題の意図】

大学院での研究に必要な外国語の文献を理解する能力を備えているかを問う。外国語の文章の語句、節、文レベルの理解だけでなく、段落全体の論旨の展開を把握する読解力が必要とされる。また、解答に際しては原文の理解を正確な日本語で訳出することが求められる。

【出典】

- 〔英語〕・Thompson, William F., and Laura-Lee Balkwill. "Cross-Cultural Similarities and Differences." In *Handbook of Music and Emotion: Theory, Research, Applications*, edited by Patrick N. Juslin and John A. Sloboda. Oxford: Oxford University Press, 2010.
- ・Wolff, Janet. "The Ideology of Autonomous Art." in *Music and Society*:

The Politics of Composition, Performance and Reception, edited by Richard Leppert and Susan McClary. Cambridge: Cambridge University Press, 1987.

[独語]・Thomas Bernhard: *Der Untergeher*. Suhrkamp 1983.

[仏語]・Madame de Staël, *De l'Allemagne*(1813), GF-Flammarion, Paris, 1968.

[伊語]・Paola Geri, *Manuale d'italiano per cantanti d'opera*,2004, Guerra
・Mauro Pichiassi - Giovanna Zaganelli, *Contesti italiani*,1992, Guerra

外国語〔英語〕（音楽学領域）

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な、語学の能力を備えているかを問う。

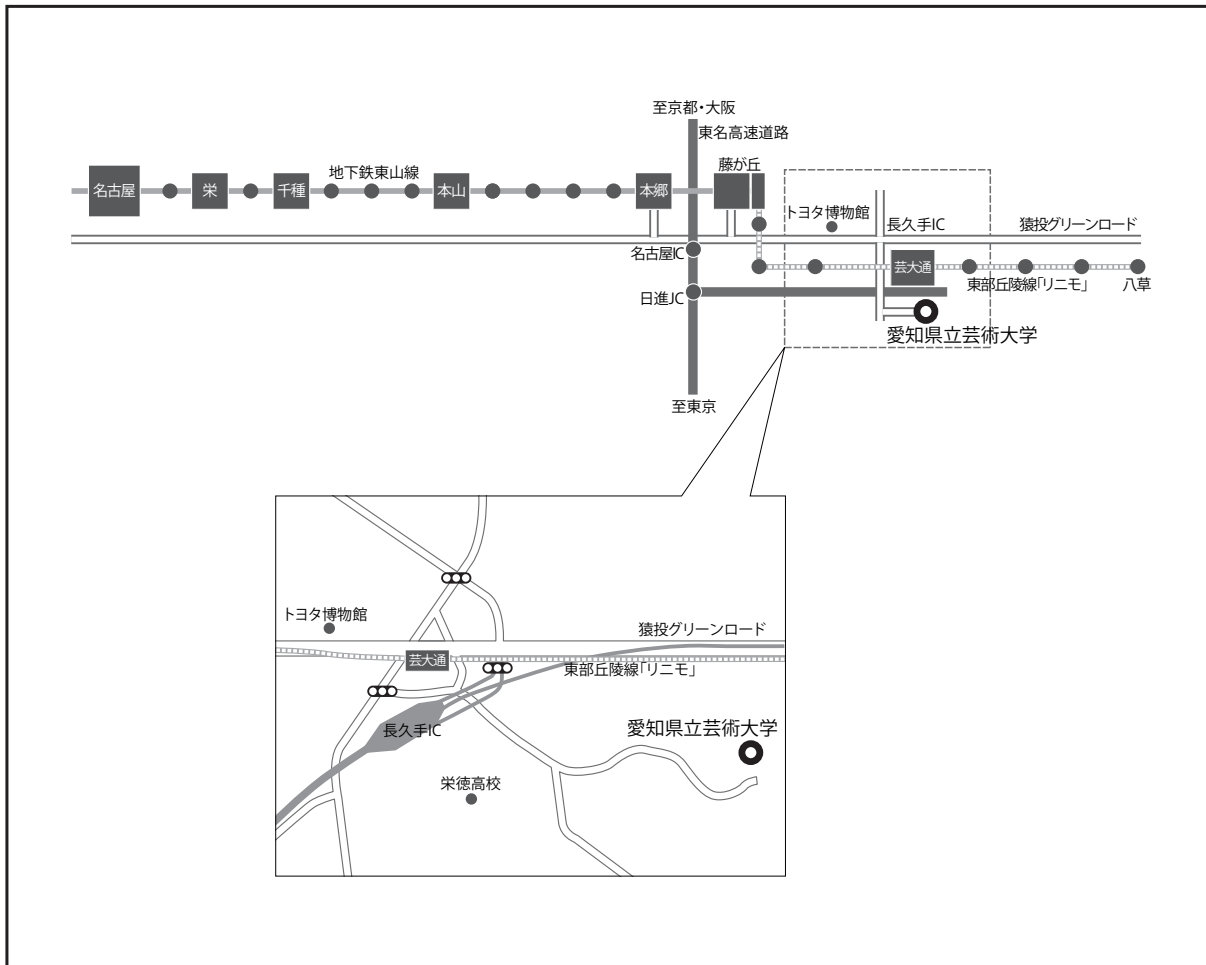
【出典】

- [英語]・Jon Banks. "Brahms's Hungarian Dances and the Early 'Csárdás' Recordings." *Music & Letters*. Vol. 102, No. 4.
・Rudolf Rasch ed. *Music Publishing in Europe 1600-1900: Concepts and Issues, Bibliography*. Berliner Wissenschafts-Verlag, 2005.

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

(閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで)

所在地案内図



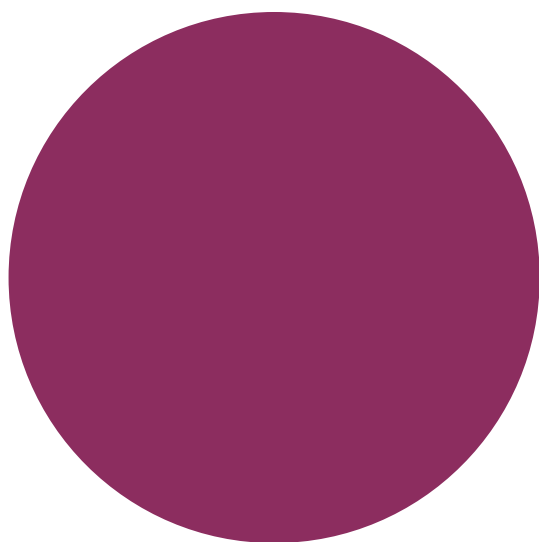
■名古屋方面から

市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）

もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅または「藤が丘」駅からタクシーで約20分。

■豊田・瀬戸方面から

愛知環状鉄道「八草」駅下車、東部丘陵線（リニモ）に乗り換え「芸大通」駅下車、徒歩約10分。（改札正面の階段を下りて右方向へ）



愛知県立芸術大学

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 入試課
〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114
TEL 0561-76-2603(入試課直通)

愛知県立芸術大学ウェブサイトURL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/admission/>

